**兼行: 2012.07.01 (月1回予定)** 

No.28

### 東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4 電話 03-3790-1751 URL http://www.tokometal.co.jp (見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

7月 文月(ふづき・ふみづき)です。文月の語源は、旧暦7月は七夕の行事があり、この日、短冊に歌や字を書いて献じたことから「文月」と名付けられたとされているとか。 現代はパソコンや携帯メール、スマートフォンの時代で、ペンで書くよりキーボードを打つ方が多くなりましたが、せめて七夕の願いを短冊に書いて吊るすくらいの心のゆとりを持ちたいものです。

そんな心のゆとりとは無関係に大飯原発再稼働が問題になり、各地で集会が開催されています。 エネルギー資源無くしては、産業界も家庭も生活できませんから、正解は無いのかもしれません。 あらゆる資源を大切にしなければなりませんが、過日の南鳥島でレアアース発見のニュースには 大きな期待が寄せられています。LED照明や液晶テレビなどの部品に使われるレアアースが、 日本の年間消費量の220倍以上が埋もれているとのこと。水深5600mの海底という課題もあるようですが、明るいニュースです。

東港金属も資源を有効利用するため、毎年わずかでもリサイクル率を上げる工夫努力を続けています。非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物等、身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。





## ☆羅 針 盤

### 鉄スクラップ

# 鉄・非鉄スクラップ・・市況からの7月予測

指標になる東京製鉄宇都宮工場の価格が30,000円/トンでスタートし29日現在26,500円/トンまで下がりました。 輸出の低迷、電炉各社の入荷が使用料を上回り在庫増になり荷受制限・荷止が相次が原因と思われます。 現状、先高の環境には至っていませんが、鋼材の販売が回復しだしている為品薄になる可能性があり、7月は

多少ではあるが上がると思われます。



→ 考察)

▶ 考察) LME7,500ドル/トン台(国内銅建値660,000円/トン)でスタートしたものの、欧州債務危機の問題等で上げ下げを繰り返しましたが、終盤上げに転じ30日時点7,700ドル/トン台まで上昇しました。7月は、欧州問題の安定が期待できない為、6月同様上げ下げを繰り返し最終的には、横ばいと思われます。

→ 考察

考察) LME1,970ドル/トン台でスタートしましたが、20日には1,929ドル/トンまで下がり、2年ぶりの最安値になりました。原因は、欧州の信用が払拭されない、中国の買い鈍り等が挙げられます。7月に関しては、精錬各社の減産が予想される為下がると思います。

プラスチック

考察) ほとんどのプラは下がりました。国内はもとより中国でも品物がだぶつき、無理して買わない為、安値での取引が 進んだようです。7月に関しても、6月同様に下がると思われます。



6月予測の自己評価

鉄スクラップ 〇 アルミ 〇 銅 × プラスチック 〇

☆羅 針 盤

### 環境展(ドイツ)

今回は今年5月にドイツバイエルン州の州都ミュンヘンにて開催された環境技術の見本市であるIFAT・ENTSORGAの報告をしたいと思います。

本展示会は、世界54ヶ国から2730社という環境関連企業の出展がなされる世界最大級の環境展となります。主催者の発表によれば過去最大である21万5千平米のスペースを取った展示会という事でした。当社も数年に1度、世界の最新のリサイクル技術を知りたいと思い視察参加しております。

ずばり今年の感想は、「ちょっと残念」というものでした。欧州の経済危機の影響なのか。展示スペースは大きいものの、大型機械の出展は少なくなっており、経費がかからないようにしている印象を受けました。また、誰にでもわかるような最新技術(過去の展示でいえばX線で金属を選別するような)、目新しい物はなく、従来技術をブラッシュアップしたものの展示が多かったと思います。

その中でも見どころはありました。私が注目したのは、小型家電等のリサイクルに適しているシュレッダーと3次元で形状を認識して選別する装置です。

家電品、機械品の金属リサイクルにおいて、中国における人海戦 術によるメタル分抽出に対抗すべく、如何に工数を掛けずに細かく 微粉砕し、選別工程に持っていくかという視点でとても面白いものでした。これは当社にお越しいただければ、個別に詳細をお話ししたいと思います。

また、3次元で形状認識し、選別する装置は、主に機械関係をシュレッダーした後の電線(ハーネス)を採取する事が主目的ではないかと思います。他の用途にも使えますが、最も実用的な使い方でしょう。

私は、リサイクル事業は物流的視点と製造業的視点の両面から見なければならないと考えています。従って、展示会で色々な技術に触れる事は、我々ヤードディーラーにとって大変有意義なことなのです。もし皆さんと御一緒に展示会に訪問できる機会があればこんなに素晴らしい事はありません。

ところで、余談ですが、訪独中サッカーのドイツカップがあり、我らが香川真司選手はまだドルトムントに所属しており去就が注目されておりました。ドイツカップもドルトムントがバイエルンミュンヘンを破って優勝したため、大変な盛り上がりでした。どこに行っても香川選手の事を言われたのはお世辞だとしても大変うれしい事でした。

(代表取締役 福田 隆)



#### チャレンジ人生

(第8回)

営業部 Υ の考察

東港金属はお陰様で、今年110周年を迎えました。 私が入社した翌年が、100周年、そして今回110周年となんとか10年 やってこられたな~と実感しております。

さて、今回は、婚礼司会の失敗談を話したいと思います。 某県の農協でスタートし、東京の式場で仕事をもらうようになり、慣れて きた頃の話です。私は、あるトラウマになってしまったのです。

それは、あるとき新郎新婦入場の時に言う「ご新郎・ご新婦ご入場でご ざいます」という第一声を「ご新郎・ご新婦ごにゅうにょうです」と言って しまったのです。

今までほとんど緊張したことがなかったのに、この失言の日から第一声 の時になぜか緊張するようになりました。どうしてもその癖が抜けず、何 度も同じ間違いを繰り返してしまいました。

また、結婚式は楽しくなければならない。という芸人根性から通常のスピーチよりは本音のスピーチを重視し、事前連絡なしのインタビューを取り入れました。

ある時、新婦の妹さんにマイクを向け、「新しくお兄さんが出来た感想は?」と聞いたところ「今度のお兄さんは・・・」と言ってしまい後で新婦からクレームが入りました。

媒酌人に早口言葉を言わせて、間違った為、頭をたたいてしまい、「司会者がお客様の頭をたたくとはけしからん」と、その日から式場への出入り禁止になったこともありました。

祝電披露でも失敗はいくつかありました。通常、事前に確認してから 読むのですが、式場の手違いから披露宴の最中に私の手元に届き、 確認せずに読み上げたときのことです。

「私が、このまま黙っていると思いますか?後で必ず真実は、わかります。」という祝電でした。よくある友人からの悪ふざけではなく。本当の話でした。そのまま読み上げた為、新郎は青ざめてしまい、当然親族からは、クレームが入りました。

余興の紹介でも失敗は多々ありました。ある時有名なゴスペラシンガーが、新郎新婦入場の時に歌を歌い、その歌で入場してくるという打合せでした。それが、新郎新婦の支度が整う前に入場のアナウンスをしてしまい、歌だけを1コーラス歌い切り、もう一回最初から歌ってもらったことがありました。お客さんは大喜びでしたが、スタッフからは大変叱られました。披露宴終了後にキャプテンから椅子を投げられました。

しかし、すべてにおいて失敗はつきものです。失敗を恐れては、何もできません。それをモットーに1000本以上の婚礼司会をこなしました。 その方々の中には「一生に一度の晴れ舞台を台無しにしやがった」と私を怨んでいる人も数多くいることでしょう。 その方々には、この場をお借りして謝罪いたします。「ごめんなさい」

では、また。 (営業部課長 山本 兼嗣)